

専門研修（放課後児童コース・地域保育コース） の現時点の研修カリキュラムについて

専門研修（放課後児童コース）のカリキュラム（素案）

専門研修（放課後児童コース）カリキュラムの検討に当たっての考え方・主な論点

- 子育て支援員(仮称)基本研修科目との整合性及び重複等の調整を図ることが必要ではないか。
- 放課後児童支援員の認定資格研修の研修項目・科目、研修時間数をベースとして、補助員の役割及び職務を踏まえた科目等の設定を考えていくことが必要ではないか。
- 科目の内容や研修時間数についても、補助員の役割及び職務を踏まえたものにしていくことが必要ではないか。
- 実施主体を、子育て支援員(仮称)基本研修と同様に、都道府県又は市町村とするのか、都道府県又は市町村のどちらかに限定するのか等の検討が必要ではないか。

都道府県認定資格研修【16科目（24時間）】

1. 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の理解
 - ① 放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容
 - ② 放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護
 - ③ 子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ
2. 子どもを理解するための基礎知識
 - ④ 子どもの発達理解
 - ⑤ 児童期(6歳～12歳)の生活と発達
 - ⑥ 障害のある子どもの理解
 - ⑦ 特に配慮を必要とする子どもの理解
3. 放課後児童クラブにおける子どもの育成支援
 - ⑧ 放課後児童クラブに通う子どもの育成支援
 - ⑨ 子どもの遊びの理解と支援
 - ⑩ 障害のある子どもの育成支援
4. 放課後児童クラブにおける保護者・学校・地域との連携・協力
 - ⑪ 保護者との連携・協力と相談支援
 - ⑫ 学校・地域との連携
5. 放課後児童クラブにおける安全・安心への対応
 - ⑬ 子どもの生活面における対応
 - ⑭ 安全対策・緊急時対応
6. 放課後児童支援員として求められる役割・機能
 - ⑮ 放課後児童支援員の仕事内容
 - ⑯ 放課後児童クラブの運営管理と職場倫理

子育て支援員（仮称） 基本研修【8科目（9時間）】



専門研修（放課後児童コース）の項目・科目・時間数 【6科目（〇時間）】（素案）

1. 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の理解
 - ① 放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容
 - ② 放課後児童クラブにおける権利擁護とその機能・役割
 - ③ 放課後児童クラブに関連する子ども家庭福祉施策
2. 子どもを理解するための基礎知識
 - ④ 子どもの発達理解
3. 放課後児童クラブにおける子どもの育成支援
 - ⑤ 子どもの遊びの理解と支援
4. 放課後児童クラブにおける安全・安心への対応
 - ⑥ 子どもの生活面における対応

全科目【合計14科目（〇〇時間）】を履修

子育て支援員(仮称)・基本研修及び専門研修
(放課後児童コース)修了

子育て支援員(仮称)専門研修 (地域保育コース)の科目等について (H26.9.26版)

専門研修(地域保育)カリキュラム(案)の考え方

1 カリキュラム(案)の考え方

- 子育て支援員(仮称)研修の共通研修及び専門研修(地域保育)は、現行の家庭的保育事業の基礎研修と同等以上とする。
 - 専門研修(地域保育コース)において必要となる研修カリキュラムを全て盛り込む。(現時点では共通研修の内容を一部含む。)
 - 各事業の特性を踏まえ、各事業を通じて共通にできる研修と個別の事業ごとに必要となる研修を分けて選択することとする。(※)
 - 見学実習について、現行の家庭的保育だけではなく、小規模保育、一時預かり及び事業所内保育についても実習を行うこととする。(P)(※)
- ※ 家庭的保育・小規模保育・事業所内保育について共通化を検討。

2 カリキュラム(案)の議論の方向性

- 検討会における共通研修カリキュラムの議論の内容を注視し、共通研修と専門研修で共通化できる科目については、専門研修のカリキュラムから除外することとする。
- 保育従事者等の質を確保するため、必要な研修カリキュラムとしつつ、幅広い人材が本研修を受講することを勘案し、研修の時間数について考慮する必要があるのではないか。

3 カリキュラム(案)の施行に当たっての論点

- 既に小規模保育や家庭的保育等に従事している保育従事者、家庭的保育補助者等について、子ども・子育て支援新制度施行後も引き続き従事することができるよう、配慮する必要があるのではないか。
- 子育て支援員(仮称)研修の実施に当たっては、子ども・子育て支援新制度が施行後一定期間は現行の家庭的保育事業の基礎研修で対応するなどの配慮が必要ではないか。

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ①

【共通】

選択	科目名	区分	時間	内容
	乳幼児の発達と心理	講義	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○発達とは ○発達時期の区分と発達 ○ことばとコミュニケーション ○自分と他者 ○手のはたらきと探索 ○移動する力 ○こころと行動の発達を支える保育者の役割
	食事と栄養	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳の進め方に関する最近の動向 ○栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ○食物アレルギー ○保育従事者・家庭的保育者が押さえる食育のポイント
	小児保健Ⅰ	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児の健康観察のポイント ○発育と発達について ○衛生管理・消毒について ○薬の預かりについて
	小児保健Ⅱ	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもに多い症例とその対応 ○子どもに多い病気（SIDS等を含む）とその対応 ○事故予防と対応
	心肺蘇生法	実技	120分	
	環境整備	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○保育環境を整える前に ○必要な環境とは ○環境チェックリスト

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ②

選択	科目名	区分	時間	内容
	安全の確保とリスクマネジメント	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの事故 ○子どもの事故の予防 保育上の留意点 ○緊急時の連絡・対策・対応 ○リスクマネジメントと賠償責任
	保育従事者・家庭的保育者の職業倫理と配慮事項	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○職業倫理 ○自己管理 ○家族との関係 ○地域との関係 ○保育所や様々な保育者との関係 ○行政との関係
	子ども虐待	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども虐待への関心の高まり ○子ども虐待とは ○子ども虐待の実態 ○虐待が及ぼす影響 ○子ども虐待の発見と通告 ○虐待を受けた子どもに見られる行動特徴 ○子どもが家で虐待を受けたと思われたならば ○不適切な関わりを防ぐために
	気になる子どもへの対応	講義	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○気になる行動 ○気になる行動をする子どもの行動特徴 ○気になる行動への対応の考え方 ○気になる行動の原因とその対応 ○保育者の役割 ○遊びー日本に伝承されてきた育児法を用いるー

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ③

選択	科目名	区分	時間	内容
	グループ討議	演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○討議の目的 ○討議の原則 ○討議の効果 ○討議のすすめ方
	実施自治体の制度について（任意）	講義	60分～ 90分	<ul style="list-style-type: none"> ○連携保育所 ○関係機関 ○地域資源 ○巡回指導・監査指導等 ○報告事項などについて

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

時間数：15時間～15.5時間

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ④

【家庭的保育①】

選択	科目名	区分	時間	内容
家	家庭的保育の概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育の歴史的経緯 ○家庭的保育の特徴 ○家庭的保育のリスクを回避するための課題
家	家庭的保育の保育内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育における保育内容 ○家庭的保育の1日の流れ ○異年齢保育 ○新しく子どもを受け入れる際の留意点 ○地域の社会資源の活用 ○家庭的保育の記録 ○保育の体制
家	家庭的保育の運営と管理	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供 ○受託までの流れ ○家庭的保育の運営上必要な記録と報告 ○個人事業主としての財務管理
家	家庭的保育における保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わりと対応 ○保護者への対応の基本 ○子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ⑤

【家庭的保育②】

選択	科目名	区分	時間	内容
	見学実習オリエンテーション	演習	30分～60分	見学実習で自らが学びたい内容をあらかじめ考える
家、小 事、一 フ	見学実習	実習	2日以上	1日目 保育の1日の流れを見る 2日目 保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

時間数：6時間～6.5時間＋2日以上

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ⑥

【小規模保育①】

選択	科目名	区分	時間	内容
小	小規模保育の概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○小規模保育の歴史的経緯 ○小規模保育の特徴 ○小規模保育のリスクを回避するための課題
小	小規模保育の保育内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○小規模保育における保育内容 ○小規模保育の1日の流れ ○異年齢保育 ○新しく子どもを受け入れる際の留意点 ○地域の社会資源の活用 ○小規模保育の記録 ○保育の体制
小	小規模保育の運営と管理	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供 ○利用までの流れ ○小規模保育の運営上必要な記録と報告 ○財務管理
小	小規模保育における保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わりと対応 ○保護者への対応の基本 ○子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ⑦

【小規模保育②】

選択	科目名	区分	時間	内容
	見学実習オリエンテーション	演習	30分～60分	見学実習で自らが学びたい内容をあらかじめ考える
家、小 事、一 フ	見学実習	実習	2日以上	1日目 保育の1日の流れを見る 2日目 保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

時間数：6時間～6.5時間＋2日以上

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ⑧

【事業所内保育①】

選択	科目名	区分	時間	内容
事	事業所内保育の概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所内保育の歴史的経緯 ○事業所内保育の特徴 ○事業所内保育のリスクを回避するための課題
事	事業所内保育の保育内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所内保育における保育内容 ○事業所内保育の1日の流れ ○異年齢保育 ○新しく子どもを受け入れる際の留意点 ○地域の社会資源の活用 ○事業所内保育の記録 ○保育の体制
事	事業所内保育の運営と管理	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供 ○利用までの流れ ○事業所内保育の運営上必要な記録と報告 ○財務管理
事	事業所内保育における保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わりと対応 ○保護者への対応の基本 ○子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ⑨

【事業所内保育②】

選択	科目名	区分	時間	内容
	見学実習オリエンテーション	演習	30分～60分	見学実習で自らが学びたい内容をあらかじめ考える
家、小 事、一 フ	見学実習	実習	2日以上	1日目 保育の1日の流れを見る 2日目 保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

時間数：6時間～6.5時間＋2日以上

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ⑩

【一時預かり事業①】

選択	科目名	区分	時間	内容
—	一時預かり事業の概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○一時預かり事業とは ○一時預かり事業の意義 ○一時預かり事業の特徴 ○一時預かり事業従事者の基本姿勢
—	一時預かり事業の保育内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○一時預かり事業を行う上での配慮事項 ○計画の作成 ○環境の構成 ○発達に応じた保育内容・生活援助 ○分離不安等への対応
—	一時預かり事業の運営と管理	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○一時預かり事業の業務の流れ ○情報提供、受付、登録 ○記録、保護者への報告 ○職場倫理・チームワーク、職員間の共通理解
—	一時預かり事業における保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わりと対応 ○保護者への対応の基本 ○子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ⑪

【一時預かり事業②】

選択	科目名	区分	時間	内容
	見学実習オリエンテーション	演習	30分～60分	見学実習で自らが学びたい内容をあらかじめ考える
家、小 事、一 フ	見学実習	実習	2日以上	1日目 保育の1日の流れを見る 2日目 保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

時間数：6時間～6.5時間＋2日以上

専門研修(地域保育)科目・内容イメージ⑫

【ファミリー・サポート・センター①】

選択	科目名	区分	時間	内容
フ	ファミリー・サポート・センターの概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○ファミリー・サポート・センターとは ○ファミリー・サポート・センターの意義 ○ファミリー・サポート・センターの特徴
フ	ファミリー・サポート・センターの援助内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○ファミリー・サポート・センター提供会員の基本姿勢 ○会員活動の流れ ○活動を行う上での配慮事項 ○発達に応じた保育内容・生活援助
フ	ファミリー・サポート・センターにおける保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わりと対応 ○保護者への対応の基本 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～
フ	提供会員としての活動の実際	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○実際の活動について学ぶ <li style="padding-left: 20px;">提供会員から活動事例について直接話を聞く <li style="padding-left: 20px;">活動に関する疑問・不安等について質疑応答

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

時間数：6.5時間

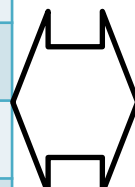
専門研修(地域保育)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較①

【専門研修(地域保育)】※共通

選択	科目名	時間数
	乳幼児の発達と心理	90分
	食事と栄養	60分
	小児保健Ⅰ	60分
	小児保健Ⅱ	60分
	心肺蘇生法	120分
	環境整備	60分
	安全の確保とリスクマネジメント	60分
	保育者の職業倫理と配慮事項	90分
	子ども虐待	60分
	気になる子どもへの対応	90分
	グループ討議	90分
	実施自治体の制度について(任意)	60~90分

【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

科目名	時間数
乳幼児の発達と心理	90分
食事と栄養	60分
小児保健Ⅰ	60分
小児保健Ⅱ	60分
心肺蘇生法	120分
家庭的保育の環境整備	60分
安全の確保とリスクマネジメント	60分
家庭的保育者の職業倫理と配慮事項	90分
子ども虐待	60分
気になる子どもへの対応	90分
グループ討議	90分
実施自治体の制度について(任意)	60~90分



※赤字は家庭的保育者研修(基礎研修)に含まれないカリキュラム、青字は家庭的保育者研修(基礎研修)と記載内容が異なるカリキュラム
 ※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

時間数：専門研修(共通) 15時間~15.5時間

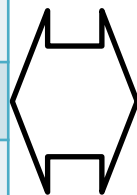
専門研修(地域保育)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較②

【専門研修(地域保育)】※各事業

【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

○家庭的保育

選択	科目名	時間数
家	家庭的保育の概要	60分
家	家庭的保育の保育内容	120分
家	家庭的保育の運営と管理	60分
家	家庭的保育における保護者への対応	90分
	見学実習オリエンテーション	30~60分
小 家 一、 事 つ	見学実習	2日以上



科目名	時間数
家庭的保育の概要	60分
家庭的保育の保育内容	120分
家庭的保育の運営と管理	60分
保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30~60分
見学実習	2日以上

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

※赤字は家庭的保育者研修(基礎研修)に含まれないカリキュラム、青字は家庭的保育者研修(基礎研修)と記載内容が異なるカリキュラム

時間数：専門研修(共通) 15時間~15.5時間
 (各事業) 6時間~6.5時間
 + 2日以上

合計 21時間~22時間
 + 2日以上

時間数：基礎研修 21時間~22時間 + 2日以上

現行の家庭的保育事業の基礎研修と同じ

※ただし、子育て支援員(仮称)研修の共通研修は含まれていない。

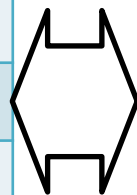
専門研修(地域保育)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較③

【専門研修(地域保育)】 ※各事業

【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

○小規模保育

選択	科目名	時間数
小	小規模保育の概要	60分
小	小規模保育の保育内容	120分
小	小規模保育の運営と管理	60分
小	小規模保育における保護者への対応	90分
	見学実習オリエンテーション	30~60分
小 家 事 業	見学実習	2日以上



科目名	時間数
家庭的保育の概要	60分
家庭的保育の保育内容	120分
家庭的保育の運営と管理	60分
保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30~60分
見学実習	2日以上

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

※赤字は家庭的保育者研修(基礎研修)に含まれないカリキュラム、青字は家庭的保育者研修(基礎研修)と記載内容が異なるカリキュラム

時間数：専門研修(共通) 15時間~15.5時間
 (各事業) 6時間~6.5時間
 + 2日以上

合 計 21時間~22時間
 + 2日以上

時間数：基礎研修 21時間~22時間 + 2日以上

現行の家庭的保育事業の基礎研修と同じ

※ただし、子育て支援員(仮称)研修の共通研修は含まれていない。

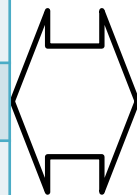
専門研修(地域保育)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較④

【専門研修(地域保育)】※各事業

【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

○事業所内保育

選択	科目名	時間数
事	事業所内保育の概要	60分
事	事業所内保育の保育内容	120分
事	事業所内保育の運営と管理	60分
事	事業所内保育における保護者への対応	90分
	見学実習オリエンテーション	30~60分
小 家 一 事 つ	見学実習	2日以上



科目名	時間数
家庭的保育の概要	60分
家庭的保育の保育内容	120分
家庭的保育の運営と管理	60分
保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30~60分
見学実習	2日以上

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

※赤字は家庭的保育者研修(基礎研修)に含まれないカリキュラム、青字は家庭的保育者研修(基礎研修)と記載内容が異なるカリキュラム

時間数：専門研修(共通) 15時間~15.5時間
 (各事業) 6時間~6.5時間
 + 2日以上

 合計 21時間~22時間
 + 2日以上

時間数：基礎研修 21時間~22時間 + 2日以上

現行の家庭的保育事業の基礎研修と同じ

※ただし、子育て支援員(仮称)研修の共通研修は含まれていない。

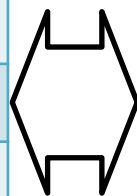
専門研修(地域保育)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較⑤

【専門研修(地域保育)】 ※各事業

【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

○一時預かり事業

選択	科目名	時間数
—	一時預かり事業の概要	60分
—	一時預かり事業の保育内容	120分
—	一時預かり事業の運営と管理	60分
—	一時預かり事業における保護者への対応	90分
	見学実習オリエンテーション	30~60分
小 家 一 事 業	見学実習	2日以上



科目名	時間数
家庭的保育の概要	60分
家庭的保育の保育内容	120分
家庭的保育の運営と管理	60分
保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30~60分
見学実習	2日以上

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

※赤字は家庭的保育者研修(基礎研修)に含まれないカリキュラム、青字は家庭的保育者研修(基礎研修)と記載内容が異なるカリキュラム

時間数：専門研修(共通) 15時間~15.5時間
 (各事業) 6時間~6.5時間
 + 2日以上

合計 21時間~22時間
 + 2日以上

時間数：基礎研修 21時間~22時間 + 2日以上

現行の家庭的保育事業の基礎研修と同じ

※ただし、子育て支援員(仮称)研修の共通研修は含まれていない。

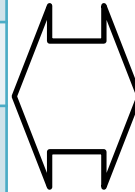
専門研修(地域保育)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較⑥

【専門研修(地域保育)】※各事業

【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

○ファミリー・サポート・センター

選択	科目名	時間数
フ	ファミリー・サポート・センターの概要	60分
フ	ファミリー・サポート・センターの保育内容	120分
フ	ファミリー・サポート・センターにおける保護者への対応	90分
フ	提供会員としての活動の実際	120分



科目名	時間数
家庭的保育の概要	60分
家庭的保育の保育内容	120分
家庭的保育の運営と管理	60分
保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30～60分
見学実習	2日以上

※「選択」欄は、それぞれの事業独自の内容となっている科目

※赤字は家庭的保育者研修(基礎研修)に含まれないカリキュラム、青字は家庭的保育者研修(基礎研修)と記載内容が異なるカリキュラム

時間数：専門研修(共通) 15時間～15.5時間
(各事業) 6.5時間

時間数：基礎研修 21時間～22時間+2日以上

合 計 21.5時間～22時間

現行の家庭的保育事業の基礎研修と時間数はほぼ同じ。見学実習はなし

※ただし、子育て支援員(仮称)研修の共通研修は含まれていない。

(参考 1) 家庭的保育者研修 (基礎研修) カリキュラム①

科目名	区分	時間	内容	共通	専門
家庭的保育の概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育の歴史的経緯 ○家庭的保育の特徴 ○家庭的保育のリスクを回避するための課題 		○
乳幼児の発達と心理	講義	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○発達とは ○発達時期の区分と発達 ○ことばとコミュニケーション ○自分と他者 ○手のはたらきと探索 ○移動する力 ○こころと行動の発達を支える家庭的保育者の役割 	⊖	○
食事と栄養	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳の進め方に関する最近の動向 ○栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ○食物アレルギー ○家庭的保育者が押さえる食育のポイント 		○
小児保健Ⅰ	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児の健康観察のポイント ○発育と発達について ○衛生管理・消毒について ○薬の預かりについて 		○
小児保健Ⅱ	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもに多い症例とその対応 ○子どもに多い病気とその対応 ○事故予防と対応 		○
心肺蘇生法	実技	120分			○

(参考1) 家庭的保育者研修（基礎研修）カリキュラム②

科目名	区分	時間	内容	共通	専門
家庭的保育の保育内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育における保育内容 ○家庭的保育の1日の流れ ○異年齢保育 ○新しく子どもを受け入れる際の留意点 ○地域の社会資源の活用 ○家庭的保育の記録 ○保育の体制 		○
家庭的保育の環境整備	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○保育環境を整える前に ○家庭的保育に必要な環境とは ○環境チェックリスト 		○
家庭的保育の運営と管理	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供 ○受託までの流れ ○家庭的保育の運営上必要な記録と報告 ○個人事業主としての財務管理 		○
安全の確保とリスクマネジメント	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの事故 ○子どもの事故の予防 保育上の留意点 ○緊急時の連絡・対策・対応 ○リスクマネジメントと賠償責任 	⊖	○
家庭的保育者の職業倫理と配慮事項	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育者の職業倫理 ○家庭的保育者の自己管理 ○家庭的保育者自身の家族との関係 ○地域との関係 ○保育所や様々な保育者との関係 ○行政との関係 		○

(参考 1) 家庭的保育者研修 (基礎研修) カリキュラム③

科目名	区分	時間	内容	共通	専門
保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育における保護者との関わりと対応 ○家庭的保育における保護者への対応の基本 ○子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～ 	⊖	○
子ども虐待	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども虐待への関心の高まり ○子ども虐待とは ○子ども虐待の実態 ○虐待が及ぼす影響 ○子ども虐待の発見と通告 ○虐待を受けた子どもに見られる行動特徴 ○子どもが家で虐待を受けたと思われたならば ○家庭的保育で不適切な関わりを防ぐために 	⊖	○
気になる子どもへの対応	講義	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○気になる行動 ○気になる行動をする子どもの行動特徴 ○気になる行動への対応の考え方 ○気になる行動の原因とその対応 ○保育者の役割 ○遊びー日本に伝承されてきた育児法を用いるー 	⊖	○
見学実習オリエンテーション	演習	30分～60分	<ul style="list-style-type: none"> ○見学実習のポイントと配慮 ○見学を引き受ける際の留意事項 		○
グループ討議	演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○討議の目的 ○討議の原則 ○討議の効果 ○討議のすすめ方 		○

(参考 1) 家庭的保育者研修 (基礎研修) カリキュラム④

科目名	区分	時間	内容	共通	専門
見学実習	実習	2日以上	複数の家庭的保育者のもとで家庭的保育を実習 ○保育日誌・家庭連絡帳の作成の仕方 ○実習日誌作成・提出 (実習のうち1日は家庭的保育の1日の流れを体験)		○
実施自治体の制度について(任意)	講義	60分～90分	○連携保育所 ○関係機関 ○地域資源 ○巡回指導・監査指導等 ○報告事項などについて		○

(参考2) ファミリー・サポート・センター研修カリキュラム

科目名	講師	時間 (目安)
1 保育の心	保育士・保健師	2時間
2 心の発達とその問題	発達心理の専門家	4時間
3 身体の発達と病気	小児科医	2時間
4 小児看護の基礎知識	看護師・保健師	4時間
5 安全・事故	医師・保健師・保育士	2時間
6 子どもの世話	保健師・保育士	2時間
7 子どもの遊び	保育士	2時間
8 子どもの栄養と食生活	栄養・保育学科栄養学の専門家、 管理栄養士等	3時間
9 事業を円滑に進めるために	ファミリー・サポート・センターアドバイザー等	3時間
合 計		24時間